

令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

消防局警防部長 もりた ひろあき
森田 浩哲



仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針

近年、消防を取り巻く環境は、台風、豪雨などによる災害や切迫する大規模地震への対応など大きな転換期を迎えています。昨年も台風19号により、関東・甲信・東北地方を中心に甚大な被害が発生し、台風としては初めてとなる大規模災害復興法に基づく「非常災害」に指定されたところです。

消防局警防部では、複雑多様化する災害に立ち向かい、市民の皆様の安全・安心を確保するべく、各種訓練の企画立案を行い、隊員の消火・救急・救助技術の向上を図るとともに、減災・防災を目的とした予防行政に引き続き取り組んでまいります。

また、増加する救急需要に対応するため、昨年10月に11隊目の救急隊の運用を開始したところですが、今後も増加が見込まれる救急件数を抑制するため、救急車の適正利用について積極的な広報を行い、より安定した市民サービスの提供に努めてまいります。

令和元年度の振り返り

令和元年度につきましては、国家的イベントであるラグビーワールドカップ2019日本大会が9月に開幕し、本市花園ラグビー場において4試合が開催されました。開催が決定した平成27年から着々と準備を進め、大阪府内消防本部のみならず、自衛隊や警察を含めた関係機関と連携強化に取り組み、消防局として万全な警戒を実施することで大会の成功に大きく貢献することができました。

また、超高齢社会の進展等により救急出動件数が増加傾向にあることから、令和元年10月に西消防署本署に救急隊を1隊増隊し、11隊体制での運用となりました。救急出動件数の約半数が西消防署管内の要請であり、西消防署管内に救急隊が5隊となったことにより、他署（東消防署・中消防署）からの応援出動が減少し、効率的に救急隊が稼働できるようになりました。

引き続き、市民の皆様のニーズを的確に把握し、高品質な消防行政を目指し、各種施策に対して積極的かつ柔軟に取り組んでまいります。